

令和6年度 立川市立立川第二中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	◎すすんで学ぼう ○思いやりの心をもとう ○理想の実現に努めよう
---------	--

育成を目指す生徒像	教科や学年全体に共通する取組
○主体的・対話的で深い学びを行う生徒の育成 ○思考力・判断力・表現力等の育成 ○主体的に学習に取り組む態度の育成	・UDの視点を取り入れた教室整備や授業展開をし、主体的で深い学びのための学習意欲を引き出す。 ・国及び都の学力調査、東京ベーシック・ドリル、都立高校学力検査の分析を活用しながら、授業の質的向上のための改善を図る。 ・年2回の教員相互の授業観察により、UDの視点を取り入れた授業の工夫を図る。

教科	生徒の実態を踏まえた教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）
国語	○社会生活に必要な国語について、授業で学んだこと・理解を深めたことを把握し、日常生活に生かす態度・姿勢 ○文章や問題を適切に読み取り、理解する力 ○自身の考えや感想などを言語化し、適切に他者に伝える思考力・語彙力・文章作成力	・授業目標に対して達成度や内容理解を自己評価し、自身の授業理解度を把握できるようにする。 ・授業目標、読解の視点を理解できるようにするため、発問や活動の仕方を工夫して授業実践をする。 ・授業活動、振り返りにおいて記述項目を必ず設定する。その記述について他者評価も取り入れ、適切に他者へ伝わる内容の記述へ改善できるようにする。
社会	○基本的な知識や技能を活用し、社会的事象を関連付けて考察する力 ○日常生活における社会的事象に関心をもち、授業での学びを生かしながら主体的に課題を追求し、解決しようとする態度	・単元を通して思考を深められるよう、単元を貫く学習課題を設定する。 ・日常生活と授業での学びを結び付けられるように授業展開を工夫する。 ・授業の振り返りや単元のまとめレポートを実施することで、自己の学習を振り返り、次の学習に生かせるようにする。 ・タブレットPCなどのICT機器を活用し、生徒の興味・関心を引き付ける。
数学	○数学を活用して事象を論理的に考察する思考力、数量や図形などの性質を見いだす判断力、数学的な表現を用いて事象を的確に説明できる表現力 ○数学的活動の楽しさや数学のよさを考えるなど、学習内容や学習方法を自身で振り返り、数学を問題解決に生かそうとする態度	・図表やグラフ、映像など、ICTを活用し、視覚的な指導方法を多く取り入れ、生徒の興味・関心を引き出す。 ・協働的な学びの機会を増やし、互いの意見を吟味させる活動を取り入れる。 ・毎時間の授業の振り返りや、章のまとめレポートの作成を実施することで、自身の課題や現状を把握させ、学習方法の改善へとつなげられるようにする。
理科	○より豊かな科学的思考力 ○身の回りの現象に対する興味・関心および身の回りの現象の課題発見および解決力 ○自然事象に対し、自ら課題を見だし、実験計画を立案し、得られた結果を分析・解釈する力 ○学習内容をもとに、身のまわりの自然現象にすすんで関わり、主体的に探究しようとする態度	・実験・観察において予想と結果、および考察の指導に引き続き注力していく。 ・演示実験や映像などを用いて、生徒が自ら課題を見だし、それを解決するための実験計画を立案する場面を設ける。 ・図やモデルを活用し、目に見えない現象を可視化し、生徒がイメージをもちやすくなる授業を展開する。

音楽	<p>○音楽を形づくっている要素や、要素同士の関連を知覚して、それらの働きが生み出す雰囲気を感じ、曲にふさわしい音楽表現を考えられる力</p> <p>○曲にふさわしい音楽表現について、想いをもち、音楽のよさを味わいながら聴くことができる力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱や鑑賞、器楽、創作のすべての領域で、音楽を形づくっている要素（リズムや速度、音色、強弱など）がどのような働きをしているか把握できるようにする。 ・要素の働きがどのような音楽表現につながっているか、自身が感じ取った音楽のよさがどのようなものか、他者と共有しながら、言語化できるようにする。
美術	<p>○表現、鑑賞活動のための造形的な見方・考え方</p> <p>○感性や想像力を働かせ、豊かに発想・構想する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作者の意図・ねらいをもとに、よりよい表現を考える生徒同士の対話型鑑賞や振り返りの場面を設定する。 ・社会と美術のつながりを感じられるよう、作品を鑑賞する場を設定し、事実や意見を共有できるようにする。 ・発想を広げるため、アイデアスケッチの相互鑑賞の場を設定し、他者と共有しながら、言語化できるようにする。 ・豊かな構想を練るため、素材や用具の試行錯誤ができる機会を設定する。
保健 体育	<p>○自己で学習を調整・選択でき、挑戦できる力の育成</p> <p>○失敗することを恐れず、挑戦し続けることができる生徒の育成</p> <p>○考えたことを技能に結び付けることができる能力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別に練習できるように段階を踏んだ場面を設定し、個々に合った活動ができるようにする。 ・毎時間の目標を明確にする。また、生徒自身でも目標を立てさせ、学習カードなどを用いて言語化できるようにする。さらに、個に応じた声かけをし、目標達成に向けて挑戦し続けられるようにする。 ・動画撮影など ICT 機器を活用して思考を促し、自身の課題を発見させ、技能の向上につなげる。
技術 家庭	<p>○豊かな生活ができるように、生活課題を主体的に解決しようとする態度</p> <p>○豊かな生活を営める基礎的な生活技能の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・協働作業の場面を意図的に設定し、意見交換を取り入れることで、教え合わせ、思考力を伸ばす。 ・見通しをもった作業計画を立てることで、主体的に作業に取り組むことができるようにする。 ・基礎的な知識や技能を身に付けられるよう、ICT 機器を活用する。
外国語	<p>○学んだ言語の表現を理解し、活用して、即興的に自分の意志や気持ちを表現できる力</p> <p>○自らの課題を理解し、主体的に学習しようとする態度</p> <p>○学んだことを理解し、自ら工夫をして整理する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語で伝え合う対話的な言語活動の機会を充実させるための場面設定の工夫と、有効的なペアやグループ活動を行う。 ・自らの課題を見つけるために、Part や Unit ごとに確認テストを実施する。 ・学んだことを主体的に整理し、まとめるための復習ノート作成や家庭学習に向けた指導を徹底する。